



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社モスフードサービス

上場取引所 東

コード番号 8153 URL http://mos.jp/

代表者 (役職名) 取締役会長 兼 取締役社長 (氏名) 櫻田 厚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営サポート本部長 (氏名) 福島 竜平 TEL 03-5487-7371

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	34,682	7.0	1,667	153.1	1,745	148.6	1,025	274.0
27年3月期第2四半期	32,421	△0.9	658	△43.7	702	△45.1	274	△76.9

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 886百万円 (331.6%) 27年3月期第2四半期 205百万円 (△84.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	33.26	—
27年3月期第2四半期	8.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	55,073	42,919	77.8
27年3月期	55,301	42,376	76.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 42,841百万円 27年3月期 42,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
28年3月期	—	11.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,500	4.8	2,400	54.4	2,500	64.1	1,400	108.1	45.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	32,009,910株	27年3月期	32,009,910株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,182,565株	27年3月期	1,182,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	30,827,483株	27年3月期2Q	30,828,232株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費については、持ち直しの動きが見られる一方、所得水準の伸び悩みなどから選別消費の傾向が一層強まる状況となりました。

一方で外食業界を取り巻く環境は、原材料費の高騰による調達費用の上昇、物流費の高騰など、以前にも増して厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」という経営ビジョンの達成に向け、国内モスバーガー事業の収益力強化、海外事業の推進、新業態の開発・推進などに積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期の連結経営成績につきましては、売上高は346億82百万円(前年同四半期比7.0%増)、営業利益16億67百万円(同153.1%増)、経常利益17億45百万円(同148.6%増)となり、最終損益は固定資産売却益61百万円、投資有価証券売却益57百万円、固定資産売却損31百万円、固定資産除却損76百万円、減損損失2億42百万円、投資有価証券評価損40百万円等を計上した結果、親会社に帰属する四半期純利益10億25百万円(同274.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<モスバーガー事業>

当社グループの基幹事業であるモスバーガー事業では、主として以下の施策を展開しました。

①独自性のある商品の投入

より健康感のある食事がしたい、カロリーを控えたいというお客さまニーズに対応するため、定番商品8品目にて牛100%使用のお肉のパティと、大豆由来の植物性たんぱくを使用したソイパティとをお客さまご自身が選択できるようにいたしました。また、定番商品にアレンジ・付加価値を加えた「カレーモスバーガー」や「リッチモスチーズバーガー」、トルコのファストフードをモス流にアレンジした「モスのぬれバーガー(地域限定)」、トマトをパンズ(パン)の代わりに使用した「とま実バーガー(店舗限定)」など他社では類をみない驚きのある商品を期間限定にて展開いたしました。

②ダイレクトコミュニケーションの推進

2015年9月の徳島県開催をもってモスバーガータウンミーティングは全国47都道府県での開催を達成いたしました。2011年2月からスタートしたモスバーガータウンミーティングとは、デジタルなりサーチだけでは得られないお客さまの生の声を、社長を始め、役員、社員、加盟店オーナーが直接伺う企画で、約4年半にわたり実施してまいりました。パンを使用しないハンバーガー「モスの菜摘」の復活販売、朝モス強化(全店7時開店)などは、実際にお客さまの声が反映された施策です。全国一巡を終えましたが、形を変え、ダイレクトコミュニケーションは継続してまいります。

③地域発信イベントの強化

「モスの産直フェスタ」、「記念日連動企画」など地域発信のイベントを多数開催いたしました。モスの産直フェスタとは、地元の店長やスタッフが協力農家を訪れ、自らが収穫した野菜を店舗にて販売・商品に使用するという企画です。野菜を活かしたその期間だけの特別メニューもご用意し、多くのお客さまにご好評をいただきました。また、「記念日連動企画」では、地域のイベント(県民の日など)を盛り上げるべく野菜のプレゼントや復刻商品の販売などのキャンペーンを行い、多くのお客さまにご利用いただきました。

④モスのネット注文の推進

ご指定の時間で受け取りが可能な「モスのネット注文」の会員数は順調に増え、当第2四半期末には14万人超となりました。お電話注文との合計注文比率10%に向け、サービス、告知の強化を進め、さらなる会員の確保、利用頻度の向上を目指します。

⑤農業生産法人・協力農家との協同

6社の農業生産法人、約3000軒の協力農家との協同をさらに発展させ、品質の高い生鮮野菜の安定供給のほか、当社規格品以外の外販など新たなチャネルの開拓に努めてまいります。

国内モスバーガー事業の店舗数につきましては、当第2四半期連結累計期間においては出店11店舗に対し閉店は29店舗で、当第2四半期末の店舗数は1,387店舗(前連結会計年度末比18店舗減)となりました。

なお、5月19日より原材料費の高騰、円安の進行、物流費の高騰などを主要因に価格の改定を行いました。上記施策を含め、商品、サービスなど更なる磨き上げを行うことで、価格以上の価値を感じてご利用いただけるよう取り組んでおります。

海外モスバーガー事業の店舗数につきましては、台湾240店舗(同2店舗増)、シンガポール28店舗(同増減なし)、香港15店舗(同2店舗増)、タイ6店舗(同増減なし)、インドネシア2店舗(同増減なし)、中国(福建省・江蘇省・上海市・広東省)17店舗(同6店舗減)、オーストラリア5店舗(同増減なし)、韓国10店舗(同増減なし)となり、海外全体の当第2四半期末店舗数は323店舗(同2店舗減)となりました。

これらの施策により、モスバーガー事業の売上高は325億38百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益は27億5百万円(前年同四半期比69.9%増)となりました。

<その他飲食事業>

各業態の当第2四半期末店舗数は、マザーリーフ業態合計で34店舗、「自由が丘 あえんおそうざい」事業2店舗、株式会社ダスキンとのコラボレーションショップ「モスト」事業1店舗、「四季の旬菜料理あえん」事業6店舗、「シェフズブイ」および「グリーングリル」事業は合計で3店舗となり、その他飲食店事業合計で、46店舗(前連結会計年度末比増減なし)となりました。

以上の事業活動の結果、その他飲食事業の売上高は17億74百万円(前年同四半期比7.4%増)、営業損失は1億95百万円(前年同四半期比89百万円の損失増)となりました。

<その他の事業>

連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスおよび株式会社モスクレジットは、おもにモスバーガー事業やその他飲食事業を、衛生、金融、保険、設備レンタル面で支援しております。

これらによるその他事業の売上高は3億68百万円(前年同四半期比9.1%増)、営業利益は91百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の553億1百万円から2億27百万円減少し、550億73百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から19億79百万円増加し、固定資産は22億7百万円減少しております。流動資産が増加した主な理由は、一年以内償還予定債券の増加により有価証券が増加したため及びクリスマス商戦に係る在庫の積み増しにより商品が増加したためであります。固定資産が減少した主な理由は、株式の売却及び一年以内償還予定債券の有価証券への振替により投資有価証券が減少したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ7億71百万円減少しております。この減少の主な理由は、クリスマス商戦に係る在庫の積み増しにより買掛金が増加した一方、販売促進費等の未払金の減少及び消費税の支払いにより流動負債のその他が減少したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ5億43百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度末76.5%から当第2四半期連結会計期間末は77.8%と1.3%増加しております

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月4日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるた

め、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,789,082	7,621,114
受取手形及び売掛金	4,055,198	3,992,081
有価証券	2,900,177	4,361,452
商品及び製品	2,796,567	3,360,421
原材料及び貯蔵品	325,451	491,085
繰延税金資産	277,917	232,796
その他	823,782	888,042
貸倒引当金	△18,874	△17,724
流動資産合計	18,949,303	20,929,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,060,185	9,795,324
減価償却累計額	△5,871,403	△5,818,380
建物及び構築物（純額）	4,188,782	3,976,944
機械装置及び運搬具	292,768	306,743
減価償却累計額	△174,912	△197,605
機械装置及び運搬具（純額）	117,856	109,138
工具、器具及び備品	8,425,393	8,424,292
減価償却累計額	△4,642,465	△5,021,547
工具、器具及び備品（純額）	3,782,928	3,402,745
土地	1,460,785	1,357,562
建設仮勘定	66,328	26,979
有形固定資産合計	9,616,680	8,873,369
無形固定資産		
その他	1,288,112	1,179,751
無形固定資産合計	1,288,112	1,179,751
投資その他の資産		
投資有価証券	15,591,958	13,965,398
長期貸付金	1,460,663	1,291,231
差入保証金	5,281,114	5,078,662
繰延税金資産	95,088	79,669
その他	3,133,747	3,785,249
貸倒引当金	△103,335	△97,939
投資損失引当金	△12,200	△11,500
投資その他の資産合計	25,447,037	24,090,772
固定資産合計	36,351,830	34,143,894
資産合計	55,301,134	55,073,162

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,197,981	4,347,428
短期借入金	701,855	857,194
未払法人税等	349,258	386,529
賞与引当金	397,362	403,698
ポイント引当金	35,030	38,265
繰延税金負債	777	790
資産除去債務	13,490	36,941
その他	4,295,115	3,440,355
流動負債合計	9,990,870	9,511,203
固定負債		
長期借入金	16,849	1,030
繰延税金負債	324,328	155,635
退職給付に係る負債	326,009	294,219
資産除去債務	246,345	248,424
その他	2,020,252	1,943,059
固定負債合計	2,933,785	2,642,369
負債合計	12,924,655	12,153,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412,845	11,412,845
資本剰余金	11,100,543	11,100,543
利益剰余金	19,774,264	20,457,010
自己株式	△1,611,506	△1,612,122
株主資本合計	40,676,145	41,358,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,076,961	826,761
為替換算調整勘定	599,612	685,050
退職給付に係る調整累計額	△57,122	△28,919
その他の包括利益累計額合計	1,619,451	1,482,892
非支配株主持分	80,881	78,420
純資産合計	42,376,478	42,919,589
負債純資産合計	55,301,134	55,073,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	32,421,587	34,682,001
売上原価	16,728,103	17,494,676
売上総利益	15,693,483	17,187,325
販売費及び一般管理費	15,034,584	15,519,864
営業利益	658,899	1,667,460
営業外収益		
受取利息	30,921	46,650
受取配当金	32,375	33,919
設備賃貸料	432,670	336,009
雑収入	99,464	110,012
営業外収益合計	595,432	526,590
営業外費用		
支払利息	10,806	14,689
設備賃貸費用	480,980	339,062
持分法による投資損失	1,615	5,590
雑支出	58,875	89,616
営業外費用合計	552,276	448,958
経常利益	702,054	1,745,092
特別利益		
固定資産売却益	64,461	61,075
投資有価証券売却益	—	57,303
投資損失引当金戻入額	—	700
特別利益合計	64,461	119,078
特別損失		
固定資産売却損	4,557	31,198
固定資産除却損	53,830	76,216
減損損失	193,150	242,600
投資有価証券評価損	11,859	40,298
投資損失引当金繰入額	4,500	—
関係会社整理損	811	—
火災損失	235,570	—
その他	—	11,987
特別損失合計	504,279	402,301
税金等調整前四半期純利益	262,236	1,461,870
法人税、住民税及び事業税	271,883	447,777
法人税等調整額	△248,057	△5,196
法人税等合計	23,825	442,580
四半期純利益	238,410	1,019,290
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,709	△6,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,119	1,025,333

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	238,410	1,019,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,484	△244,862
為替換算調整勘定	△45,862	29,850
退職給付に係る調整額	3,763	28,202
持分法適用会社に対する持分相当額	△53,450	53,832
その他の包括利益合計	△33,064	△132,976
四半期包括利益	205,346	886,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,064	888,774
非支配株主に係る四半期包括利益	△39,718	△2,461

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	262,236	1,461,870
減価償却費	989,249	1,036,731
減損損失	193,150	242,600
持分法による投資損益(△は益)	1,615	5,590
固定資産除売却損益(△は益)	△6,073	46,339
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,645	5,706
ポイント引当金の増減額(△は減少)	13,008	3,235
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△144,778	△32,208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,127	△6,640
投資損失引当金の増減額(△は減少)	4,500	△700
受取利息及び受取配当金	△63,296	△80,569
支払利息	10,806	14,689
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△57,303
売上債権の増減額(△は増加)	388,113	80,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	△591,521	△706,308
仕入債務の増減額(△は減少)	407,685	136,566
その他	253,286	△681,962
小計	1,718,499	1,467,763
利息及び配当金の受取額	115,120	147,293
利息の支払額	△12,018	△14,689
法人税等の支払額	△112,010	△433,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,709,591	1,166,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△190,000	—
有価証券の償還による収入	600,091	190,036
有形固定資産の取得による支出	△1,056,336	△476,406
有形固定資産の売却による収入	153,935	198,746
無形固定資産の取得による支出	△272,076	△269,608
貸付けによる支出	△361,658	△45,223
貸付金の回収による収入	479,724	232,447
投資有価証券の取得による支出	△3,161,911	△1,988,056
投資有価証券の売却及び償還による収入	700,895	1,487,682
定期預金の預入による支出	△300,000	△705,779
定期預金の払戻による収入	500,000	—
その他	66,753	278,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,840,582	△1,097,854
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	116,940	176,203
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
自己株式の取得による支出	△1,092	△615
配当金の支払額	△373,176	△342,685
その他	△110,336	△121,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	△427,665	△348,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,538	2,449
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,570,195	△277,572
現金及び現金同等物の期首残高	10,576,603	8,999,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,006,407	8,721,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	30,431,358	1,652,199	338,029	32,421,587	—	32,421,587
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	76,909	1,379	557,165	635,454	△635,454	—
計	30,508,267	1,653,579	895,195	33,057,042	△635,454	32,421,587
セグメント利益又は損失(△)	1,592,249	△106,019	87,611	1,573,841	△914,942	658,899

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△914,942千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△906,624千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	32,538,887	1,774,204	368,908	34,682,001	—	34,682,001
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	80,230	2,811	567,315	650,357	△650,357	—
計	32,619,118	1,777,016	936,224	35,332,358	△650,357	34,682,001
セグメント利益又は損失(△)	2,705,416	△195,370	91,691	2,601,737	△934,276	1,667,460

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△934,276千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△934,132千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。